

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

アクティブラーニングを体験しよう!

沖縄のまなざし、沖縄へのまなざし ～メディアの報道と私たち



基地がないと沖縄はやっていけないという神話、沖縄に向けられる差別の視線……。本土メディアを通して知る沖縄と、沖縄の人びとが生きる現実との隔たりがますます大きくなっています。情報があふれる今、わたしたちは何を手がかりにどう沖縄を理解するかが問われています。「安全圏から沖縄を見る」自分に気づき、私たちの社会のあり方についてともに考えましょう。

講師：安田 浩一 さん (ジャーナリスト)

日時：2017年 **11月18日** (土) 16:00 ~ **19日** (日) 12:00

場所：関西セミナーハウス 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23 電話075-711-2115 [裏面に地図]

参加費：10,500円 (1泊夕朝食込み) © 2日目昼食ご希望の方は申込時にご予約ください。(1,150円)

* 開発教育セミナーの趣旨より、宿泊は原則的に2～3名の相部屋となっておりますが、部屋割りについてご要望のある方はお問合せください。

* Webサイト(申込フォーム)、Fax(チラシ書式)、電話、メール等でお申込みください。

* 申込締切：11月12日(日)、または定員30名に達し次第。(締切日以降は、電話でお問い合わせください。)

* 部分参加については事務局にお問合せ下さい。

* 前日正午以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかることがあります。

安田 浩一 やすだ こういち

1964年静岡県生まれ。『週刊宝石』(光文社)、『サンデー毎日』(毎日新聞社)記者などを経て2001年よりフリーに。事件、人権、労働問題などを中心に取材・執筆活動を続けている。著書に『沖縄の新聞は本当に「偏向」しているのか』(朝日新聞出版2016)『ルポ 差別と貧困の外国人労働者』(光文社新書 2010)、『外国人研修生殺人事件』(七つ森書館 2007)、『ネット私刑』(扶桑社 2015)など多数。

2011年、外国人労働者に関する一連の取材活動で貧困ジャーナリズム大賞受賞。2012年『ネットと愛国』(講談社)で日本ジャーナリスト会議賞、講談社ノンフィクション賞を受賞。2015年『G2』(講談社)掲載記事の『外国人隷属労働者』で大宅壮一ノンフィクション賞(雑誌部門)受賞。

◎ セミナー当日のタイムテーブル

【1日目】	15:30 ~	受 付
	16:00 ~	【セッション1】 沖縄とメディア
		・アイスブレイク
		・新聞を比較する
		・安田さんのお話とディスカッション
	18:00 ~	夕 食
	19:00 ~	【セッション2】 沖縄を見る目
		・わたしの気持ち
		・安田さんのお話とディスカッション
	21:00 ~	交流会
【2日目】	8:00 ~	朝 食
	9:00 ~	【セッション3】 沖縄と私
		・目覚めのワーク
		・高江・辺野古からのレポート
		・安田さんのお話とディスカッション
	12:00	終了予定

セミナー期間中、開発教育関連書籍の販売があります。

◇ 2017年度 開発教育セミナー これからの予定

第4回 10月14日(土)~15日(日) 「日本は“死の商人”になるのか?~軍事と民生の境界線」

講師 杉原 浩司さん (武器輸出反対ネットワーク)

第6回 12月 9日(土)~10日(日) 「もっと知りたいイスラーム~中東とヨーロッパの「今」から学ぶ」

講師 内藤 正典さん (同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科)

* 各プログラムの詳細・最新情報は、当センターウェブサイト (<http://www.academy-kansai.org>) にも随時掲載いたします。

<主催>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

Eメール office@academy-kansai.org

所長 榎本 栄次

担当 都木かおり



[2017年度 第5回 開発教育セミナー申込書] * 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅(出口②)が拾いやすいです。

(フリガナ)			
名 前	(男・女)	所 属	
住 所 〒			
電 話 ()	-	FAX ()	-
電子メール :		@	
通信欄			